



2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 神鋼商事株式会社

コード番号 8075

URL <http://www.shinsho.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 森地 高文

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 濱村 和裕

(TEL) 03-3276-2036

四半期報告書提出予定日 2018年8月10日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績(2018年4月1日~2018年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	229,682	△3.2	2,005	1.7	2,458	3.5	1,936	6.5
2018年3月期第1四半期	237,317	33.5	1,972	148.6	2,376	95.1	1,818	—

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 1,185百万円(△31.7%) 2018年3月期第1四半期 1,735百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	218.67	—
2018年3月期第1四半期	205.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第1四半期	289,152	53,817	17.8
2018年3月期	283,672	53,725	17.9

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 51,503百万円 2018年3月期 50,838百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	45.00	—	65.00	110.00
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	55.00	—	55.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日~2019年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	462,000	0.1	3,700	2.1	4,100	△0.5	3,000	5.1	338.79
通期	945,000	1.7	7,500	△7.6	8,000	△7.2	5,500	0.9	621.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期1Q	8,860,562株	2018年3月期	8,860,562株
② 期末自己株式数	2019年3月期1Q	5,596株	2018年3月期	5,596株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期1Q	8,854,966株	2018年3月期1Q	8,854,112株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページの「連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

当第1四半期決算短信より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2018年4月1日～2018年6月30日)における世界経済は、引き続き回復基調にある米国経済に加え、中国をはじめとするアジア諸国においても着実な成長が見られるなど、総じて堅調に推移しました。わが国経済は、企業収益の改善に伴い、雇用・所得環境や設備投資に好調が見られるなど、緩やかな成長が続きましたが、米中の貿易摩擦や地政学的リスクへの懸念もあり、景気の先行きは不透明な状況となっています。

このような環境の下、当社グループは鉄鋼、鉄鋼原料、非鉄金属のセグメントを中心に堅調に推移しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は2,296億82百万円(前年同四半期比3.2%減)、営業利益は20億5百万円(同1.7%増)、経常利益は24億58百万円(同3.5%増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は19億36百万円(同6.5%増)となりました。

事業セグメント別の主な営業状況は、以下のとおりです。

#### ①鉄鋼セグメント

鋼板製品は国内向け・輸出向けともに、取扱量が減少しましたが、価格は市況の影響により上昇しました。線材製品は国内向けの取扱量が横ばいとなり、自動車向け価格の下振れ等の影響により価格は下落しました。輸出向けは取扱量が増加し、価格は上昇しました。

この結果、売上高は853億7百万円(前年同四半期比5.8%増)、セグメント利益は13億5百万円(同21.8%増)となりました。

#### ②鉄鋼原料セグメント

輸入鉄鋼原料は取扱量が減少し、価格も下落しました。冷鉄源、合金鉄は取扱量が増加し、価格も上昇しました。チタン原料は取扱量が横ばいでしたが、価格が上昇しました。

この結果、売上高は688億31百万円(前年同四半期比20.4%減)となり、セグメント利益は4億24百万円(同1.3%増)となりました。

#### ③非鉄金属セグメント

銅製品は空調銅管、自動車向け端子材用銅板条の取扱量が増加しました。アルミ製品は自動車向けアルミ板条及び押出材の取扱量が増加しましたが、輸入材、鉄道車両向けアルミ押出材の取扱量が減少しました。非鉄原料はアルミ再生塊の取扱量が増加し、銅屑、アルミ屑の取扱量が減少しました。

この結果、売上高は646億1百万円(前年同四半期比9.1%増)となり、セグメント利益は6億16百万円(同10.2%減)となりました。

#### ④機械・情報セグメント

機械製品は化学プロセス機器等の取扱いが減少しましたが、大型・汎用圧縮機、真空製膜装置、建設機械部品等の取扱いは増加しました。情報関連商品は液晶用電子材料等の取扱いが減少しましたが、ハードディスク関連装置、パソコン用部品等の取扱いは増加しました。

この結果、売上高は162億74百万円(前年同四半期比2.3%増)となり、セグメント利益は56百万円(同67.1%減)となりました。

#### ⑤溶材セグメント

溶接材料は化工機向けが増加し、建築鉄骨や建設機械などの流通向け及び造船、輸出向けはそれぞれ堅調に推移しました。溶接関連機器は汎用溶接機、鉄骨溶接ロボットシステムは堅調に推移し、輸出向けロボット、設備案件が増加しました。また、生産材料は溶剤原料の取扱量が増加しました。

この結果、売上高は103億40百万円(前年同四半期比5.2%増)となり、セグメント利益は20百万円(前年同四半期は36百万円の損失)となりました。

### (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年4月27日に公表した2019年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想を修正しました。詳細につきましては本日公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	19,023	11,559
受取手形及び売掛金	165,824	176,131
電子記録債権	8,102	8,779
商品及び製品	32,323	32,379
仕掛品	510	455
原材料及び貯蔵品	1,032	1,215
前払金	8,816	10,579
その他	3,776	3,909
貸倒引当金	△105	△105
流動資産合計	239,304	244,904
固定資産		
有形固定資産	8,943	8,463
無形固定資産	659	689
投資その他の資産		
投資有価証券	31,576	31,823
その他	3,618	3,666
貸倒引当金	△429	△394
投資その他の資産合計	34,764	35,094
固定資産合計	44,367	44,247
資産合計	283,672	289,152
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	129,311	125,202
電子記録債務	14,415	14,876
短期借入金	39,921	49,127
未払法人税等	1,393	565
賞与引当金	1,048	585
その他	19,231	20,387
流動負債合計	205,321	210,745
固定負債		
長期借入金	19,390	19,312
役員退職慰労引当金	130	83
退職給付に係る負債	887	902
債務保証損失引当金	77	77
その他	4,138	4,212
固定負債合計	24,624	24,589
負債合計	229,946	235,334

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,650	5,650
資本剰余金	2,645	2,645
利益剰余金	38,370	39,730
自己株式	△17	△17
株主資本合計	46,648	48,009
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,338	3,546
繰延ヘッジ損益	117	51
為替換算調整勘定	734	△103
その他の包括利益累計額合計	4,190	3,494
非支配株主持分	2,886	2,313
純資産合計	53,725	53,817
負債純資産合計	283,672	289,152

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)
売上高	237,317	229,682
売上原価	229,781	221,926
売上総利益	7,536	7,756
販売費及び一般管理費	5,564	5,751
営業利益	1,972	2,005
営業外収益		
受取利息	20	27
受取配当金	369	405
為替差益	104	304
持分法による投資利益	232	225
雑収入	118	97
営業外収益合計	845	1,060
営業外費用		
支払利息	173	213
売掛債権譲渡損	117	83
デリバティブ評価損	91	247
雑損失	59	63
営業外費用合計	441	607
経常利益	2,376	2,458
特別利益		
負ののれん発生益	90	152
特別利益合計	90	152
特別損失		
会員権評価損	3	2
特別損失合計	3	2
税金等調整前四半期純利益	2,463	2,608
法人税、住民税及び事業税	505	485
法人税等調整額	109	161
法人税等合計	614	647
四半期純利益	1,848	1,960
非支配株主に帰属する四半期純利益	29	23
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,818	1,936

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	1,848	1,960
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	393	213
繰延ヘッジ損益	60	△66
為替換算調整勘定	△522	△920
持分法適用会社に対する持分相当額	△44	△1
その他の包括利益合計	△112	△775
四半期包括利益	1,735	1,185
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,758	1,240
非支配株主に係る四半期包括利益	△23	△55

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	鉄鋼	鉄鋼原料	非鉄金属	機械・情報	溶材	計			
売上高									
外部顧客への売上高	80,634	86,510	59,223	15,910	9,822	252,100	68	△14,851	237,317
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	3	—	2	6	—	△6	—
計	80,634	86,510	59,227	15,910	9,825	252,107	68	△14,857	237,317
セグメント利益又は 損失(△)	1,071	419	686	170	△36	2,312	△9	73	2,376

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおりません。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	鉄鋼	鉄鋼原料	非鉄金属	機械・情報	溶材	計			
売上高									
外部顧客への売上高	85,307	68,831	64,600	16,274	10,339	245,354	94	△15,765	229,682
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	0	—	0	1	—	△1	—
計	85,307	68,831	64,601	16,274	10,340	245,355	94	△15,767	229,682
セグメント利益又は 損失(△)	1,305	424	616	56	20	2,424	△1	35	2,458

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおりません。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用の算定方法について、当社は原則的な方法によっております。一部の関係会社においては、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。